

**平成 26 年度 石川県立大学大学院 生物資源環境学研究科  
博士後期（博士）課程 入学試験（2次募集）概要**

**1 募集人員**

研究科	専攻	入学定員	選抜区分		
			一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生物資源環境学 研究科	自然人間共生科学	4名	若干名	若干名	若干名
	生物機能開発科学	4名	若干名	若干名	若干名
合計		8名	若干名	若干名	若干名

**※出願にあたっては、希望する研究領域の担当教員と事前に相談してください。**

※各専攻の研究領域・研究分野については3ページ以降を参照ください。

**2 出願資格**

＜一般選抜＞

次のいずれかに該当する者とする。

＜社会人特別選抜＞

企業または団体等から派遣される者で、次のいずれかに該当する者とする。

＜外国人留学生特別選抜＞

在留資格が「留学」である者、または入学時に「留学」の在留資格を取得できる見込みの者で、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者および平成26年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、および平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、文部科学大臣の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（大学を卒業した後、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、もしくは外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、さらに大学・研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに24歳に達する者

**※出願資格の(7)～(8)により出願する者は事前の出願資格審査が必要です。**

### 3 選抜方法

入学者の選抜は、面接試験および出願書類の内容を総合的に判定して行います。

### 4 試験科目等

試験科目	出題範囲等
面接	主として修士論文等のプレゼンテーションと関連して試問。

### 5 出願期間および選抜期日

出願期間	選抜期日
平成26年1月20日(月)～1月24日(金)	平成26年2月2日(日)

### 6 合格発表期日および入学手続期間

合格発表期日	入学手続期間
平成26年2月13日(木)	平成26年2月17日(月)～2月21日(金)

### 7 試験会場

石川県立大学

〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地

TEL 076-227-7408

### 8 出願等の留意事項

- (1) 出願することができるのは、1つの専攻・研究領域に限ります。**出願にあたっては、あらかじめ希望する研究領域の担当教員と研究テーマ等について相談してください。**
- (2) 出願資格(7)～(8)により出願を希望する者については、事前の出願資格審査が必要となります。必要となる書類を個別に連絡しますので、出願資格審査期間内に書類が提出できるよう、あらかじめ本学教務学生課まで問い合わせてください。

審査期間 平成25年12月10日(火)から12月17日(火)まで(土・日を除く)

## 9 研究領域

各担当教員の研究テーマについては、本学ホームページを参照ください。大学院・各専攻紹介のページからリンクがあります。 (<http://www.ishikawa-pu.ac.jp/>)

**出願にあたっては、あらかじめ希望する研究領域の担当教員と研究テーマ等について相談してください。**

### (1) 自然人間共生科学専攻

研究領域	研究分野		
生産科学	<p>生物多様性に基づく新規食料資源の開発や、既存資源生物の効率的な生産技術体系の確立を目指し、作物・家畜（広義には資源生物）と環境との相互作用を、先端技術を駆使し、細胞・個体レベルあるいは集団レベルで解明し、持続可能な農業生産の効率化と安定化に寄与しうる研究を積極的に推進します。また、自ら目標を設定し、問題を見つけ出し解決できる、自立した指導的役割を果たしうる高度技術研究指導者を養成することを旨とした教育研究を行います。</p>		
	担当教員		
	<p>教授 鈴木 正一 〈植物遺伝育種学〉</p> <p>教授 古賀 博則 〈植物保護学〉</p> <p>教授 関根 政実 〈植物分子生理学〉</p> <p>教授 村上 賢治 〈蔬菜園芸学〉</p> <p>教授 石田 元彦 〈動物栄養学〉</p> <p>教授 小林 雅裕 〈生物資源経営学〉</p>	<p>教授 福岡 信之 〈蔬菜園芸学(農場)〉</p> <p>准教授 高原 浩之 〈植物病理学〉</p> <p>准教授 片山 礼子 〈果樹園芸学〉</p> <p>准教授 坂本 知昭 〈作物生理学〉</p> <p>准教授 大角 雅晴 〈生産システム学〉</p> <p>准教授 塚口 直史 〈作物生産学〉</p>	<p>講師 有賀 健高 〈生物資源経済学〉</p> <p>講師 高居 恵愛 〈果樹園芸学(農場)〉</p> <p>助教 榊田 星史 〈動物繁殖学〉</p> <p>助教 小木野 瑞奈 〈動物管理学〉</p> <p>助教 上野 糧正 〈応用動物行動学(農場)〉</p>
研究領域	研究分野		
環境科学	<p>地域資源の保全・管理と循環利用、生態系の保全に配慮した持続的な食料生産のための農地の利用と管理、高齢化社会に対応した地域環境管理、バイオテクノロジー等の新技術を活用した環境保全技術の開発等の諸課題を研究対象とします。また、自ら問題発見と解決の能力を身につけ、環境科学に関する独創的な研究分野を開拓でき、地域環境の保全と管理において指導的役割を發揮できる高度技術研究指導者を養成することを旨とした教育研究を行います。</p>		
	担当教員		
	<p>教授 岡崎 正規 〈土壌環境学〉</p> <p>教授 高瀬 恵次 (26年4月着任予定) 〈水環境学〉</p> <p>教授 上田 哲行 〈動物生態学〉</p> <p>教員 (26年4月着任予定) 〈地域施設学〉</p> <p>教授 柳井 清治 〈流域環境学〉</p> <p>教授 三宅 克英 〈環境生物学〉</p>	<p>准教授 皆巳 幸也 〈大気環境学〉</p> <p>准教授 北村 俊平 〈植物生態学〉</p> <p>准教授 田中 栄爾 〈微生物生態学〉</p> <p>准教授 瀧本 裕士 (26年4月着任予定) 〈環境利水学〉</p> <p>教員 (26年4月着任予定) 〈農地環境学〉</p> <p>准教授 藤原 洋一 〈水資源学〉</p>	<p>准教授 一恩 英二 〈地域水工学〉</p> <p>講師 山下 良平 〈地域計画学〉</p> <p>講師 田知本 正夫 〈土壌肥科学〉</p> <p>講師 楠部 孝誠 〈環境システム工学〉</p> <p>助教 長野 峻介 〈水利システム学〉</p>

## (2) 生物機能開発科学専攻

研究領域	研究分野		
食品科学	<p>食品の諸機能の作用機構の解明と新規作用の探索、新規食品素材の開発と、日常の食生活においてこれら機能が有効に発現するための諸要因を解明、食品の製造工程における危害要因の解析とその制御技術の開発、国民の健全な食生活確立のための教育研究を行います。さらに、食品の加工の既存技術の論理的解析、新しい技術・理論の発見、新原理に基づく新規食品の開発や、バイオテクノロジーを用いた未利用・低利用資源の有効利用に関する研究、安全で高品質な食品の製造に関する教育研究を行い、これらの分野で指導的役割を發揮できる高度技術研究指導者の養成を目指します。</p>		
	担当教員		
	教員(26年4月着任予定) <生体分子機能学> 教授 後藤 秀幸 <食品生化学> 教授 石田 信昭 <食品製造化学> 教員(26年4月着任予定) <食品加工学> 教授 榎本 俊樹 <食品化学>	教授 小西 康子 <食品分析学> 教員(26年4月着任予定) <食品管理学> 教員(26年4月着任予定) <食品衛生学> 准教授 海老原 充 <分子生物学> 准教授 島 元啓 <食品製造工学>	准教授 吉城 由美子 <食品栄養学> 准教授 本多 裕司 <食品素材科学> 准教授 松本 健司 <食品機能科学> 准教授 小柳 喬 <食品微生物学>
研究領域	研究分野		
生物機能	<p>植物の全能性の基本原理追求と、植物の持つ有用物質の生産能を探索し、食品、医薬品の原料供給、製造等の産業での展開に向けた植物のゲノム、遺伝子の普遍性・多様性の探索、バイオ先端技術を駆使した生命現象の分子・細胞・個体レベルでの解明と、微生物の環境応答システムの分子機構の基本原理を解明し、食品、環境に関わる産業での展開に向けた微生物の有用な機能性を探索、特に代謝機構の分子・細胞レベルでの解明を目指す教育研究を行います。その中で、地域産業の指導的役割を果たす人材の養成を行います。</p>		
	担当教員		
	教授 三沢 典彦 <代謝工学> 教授 西澤 直子 <植物細胞工学> 教授 山本 憲二 <応用微生物学> 准教授 森 正之 <植物遺伝子工学>	准教授 竹村 美保 <植物遺伝子工学> 准教授 大谷 基泰 <植物細胞工学> 准教授 濱田 達朗 <植物生理学> 講師 南 博道 <応用微生物工学>	助教 中谷内 修 <植物遺伝子工学> 助教 加藤 紀彦 <応用微生物工学>

### 10 学生募集要項の配付

**出願手続の詳細は、大学院学生募集要項で必ず確認してください。** 請求方法は、本学での交付か郵送での請求となります。郵送を希望する場合は、要項名(前期課程・後期課程の別)と、返送用として200円分の切手を同封、送付先を明記(または角形2号封筒(A4サイズ入)を同封)した郵便で、下記問い合わせ先まで送付ください。

＝問い合わせ先＝ 石川県立大学教務学生課 E-mail [kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp](mailto:kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp)  
 〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地  
 TEL 076-227-7408 FAX 076-227-7410